

早蕨(陽・保・平・麦・阿)

16 77-01 ひかりけしき陽保麦阿
 16 77-01 いかてかくいかにかく陽いかてかは保いかて麦阿
 16 77-01 月日身陽
 16 77-02 のみナシ保
 16 77-02 おほえ給おほゆ保
 16 77-02 ゆきかふけに行かふ麦阿
 16 77-02 時ノへにしたかひ時けにつけたかひて陽
 16 77-03 おなし心におきふしをきふしをなしこるに陽保麦阿
 16 77-03 みつゝ見きゝつゝ麦阿
 16 77-03 へもてすゑをへもてすゑをミセケチカ「保
 16 77-03 とりてとりつゝ保麦阿
 16 77-03 いひかはしいひかはし給麦阿
 16 77-04 世のうまも世のうまもまま麦
 16 77-04 つらさもナシ麦阿
 16 77-04 うちかたらひあはせきこえしにきこえはるけつゝ保うちかたらひ聞えさせしに麦阿
 16 77-05 ありしかありけれ保
 16 77-05 こと事も保
 16 77-05 ふしをもふしも平
 16 77-05 きゝしるきゝしるへき保
 16 77-06 よろつかぎへらして心ひつをこころひつをのみ保
 16 77-06 きたきてくたて阿
 16 77-06 おはしますすおはします阿

16 77-06 かなしさよりもかなしさよりは陽かなしさにも麦阿
 16 77-07 やゝうちまさりてナシ保やゝたちまさりて麦阿
 16 77-07 こひしくこひしう陽保麦阿恋しきう麦
 16 77-07 わひしきにかなしきに麦阿
 16 77-07 あけるゝもしらすのみ保明くるゝ日かすもしらす麦阿「明くるゝ明くらし阿」
 16 77-08 ほとはかきりあるわさなりければしなれぬもあさましひとはしなれぬあやしきわさにな保
 16 77-08 あさましあさましう陽麦阿
 16 77-09 あさりのもとよりれいのあさり保
 16 77-09 あらたまりてはあらたまりて平
 16 77-09 おはしますらむものせさせ給らん保
 16 77-09 御いのりはおほむいのりは保
 16 77-10 侍り侍る麦阿
 16 77-10 いまはいまはたゝ保
 16 77-10 御ことを御事をのみ保麦阿
 16 77-10 なむのみ平ナシ麦阿
 16 77-10 やすからすナシ保
 16 77-10 ねむしきこえさするなんしさする阿
 16 77-11 きこえてかきて保
 16 77-11 わらひわらひひニミセケチカ「麦
 16 77-11 つく／＼つく／＼しなと保平
 16 77-11 これはナシ平
 16 77-12 侍る侍る保

16 77-12 はつをなりとてはつをにては入る也とて麦はつをにては入るとて阿
 16 77-12 たてまつれてはたてまつれたりては陽ナシ保奉りて麦阿
 16 77-12 いとあしうてうたはわさとかましくひきはなちてそかきたるひきはなちてこと／＼しくわさとかきたり保
 16 77-12 あしうてあしくて陽あらゝかにて麦阿
 16 77-12 うたはつた陽平
 16 77-14 あまたの春をあまたのとしを陽
 16 77-14 なりかな平
 16 77-14 御前に御まへに陽おまへに保麦阿
 16 78-01 よみ申さしめよみ申させ陽よみませ保よみ申きかせ麦阿
 16 78-01 ありナシ平
 16 78-01 よみいたしつらむとよみいたしつ覽と陽よみてつらむ保
 16 78-01 おほせはおもへは陽ナシ保
 16 78-01 うたの心はへも心はへをおほすも保
 16 78-02 いとナシ麦阿
 16 78-02 あはれにてあはれなり保
 16 78-02 さしもナシ保しも麦阿
 16 78-02 おほさぬおほされぬ陽平麦阿おもはぬ保おもはされぬ麦阿
 16 78-02 なめりとみゆるナシ保
 16 78-03 めてたくこのまじけにかきつくしたまへるつくしてめてたくふかき保
 16 78-03 めてたくめてたう麦阿

16 78 03 たまへる たる陽
 16 78 03 御ふみよりは 御ふみには保
 16 78 03 こよなく こよなう陽保
 16 78 03 めとまりて まさりて保
 16 78 04 なみたもこほるれは なみたをつれば保 決こ
 ほるれは麦阿
 16 78 06 とらせさせ給 たまふ保 とらせたまふ 平未
 見平麦阿
 16 78 06 二二ほひおほくおはする人のさまの御
 物おもひにすこしうちおもやせたまへると
 あてになまめかしきけしき 二二ほひやか
 なるおほむかたちのすこしほそやきたまえる
 しもあてなると保
 16 78 07 うちおもやせをもやせ平麦阿
 16 78 07 まさりて まさり給て平
 16 78 07 むかし人にもおほえ給へりすこしおもほえ
 たまひにたり保 むかしの人にも麦阿
 16 78 08 ならひ さしならひ保
 16 78 08 おりは ありは保 ありには麦阿
 16 78 08 さらにたまへりともみえさりしをかよひ
 たまはさりしを保
 16 78 09 みえさりしを みえ給はさりしを平
 16 78 09 うちわすれては うちすては麦
 16 78 09 ふと ナシ保
 16 78 09 おほゆるまでかよひたまへるを 思わたされ
 たまふに保
 16 78 10 とめてとめて麦阿
 16 78 10 物ならましかはと物ならましかは平
 16 78 10 あさゆふにのみ保 あさ夕麦阿

16 78 11 給めるに 給めるを平
 16 78 11 おなしくは おなしく陽 なとかおなしくは
 保
 16 78 11 みえみ保
 16 78 11 ならさりけむよならさりけるを陽 ならさり
 けん保
 16 78 11 みたてまつる人のは 見たてまつる人
 陽 ナシ保
 16 78 12 御あたりの あたりも御あたりの麦阿
 16 78 12 かよひくる かよひくたる麦阿
 16 78 12 御ありさまは 御有様は麦
 16 78 13 きくかはし 聞かよはし麦阿
 16 78 13 たまひけ 給けや平未見陽保平麦阿
 16 78 14 いやめに いあめに陽 なみたもろに保
 16 78 14 きく つたへき保 聞え麦
 16 78 14 うちつけの ナシ陽
 16 78 14 心あきには こころあきには保 心あき
 は平
 16 79 01 いと ナシ保
 16 79 01 あはれもふかく あはれに保
 16 79 01 おもひしらるゝ 有かたければ六条にわたし
 聞えてんとおもほししらるゝ麦阿
 16 79 01 宮は 宮平
 16 79 02 こと こと保
 16 79 02 いと 平
 16 79 02 京にわたしきこえむとおほしたちになり ナ
 シ麦阿
 16 79 02 わたしきこえむ わたしきこえてん陽 わたし
 てん保

16 79 03 たり けり平
 16 79 03 ないえん せち系陽
 16 79 03 など などの保麦阿
 16 79 03 すくして すくしてとおほす麦阿
 16 79 03 中納言の君 中納言君麦阿
 16 79 03 あまる あかぬ陽平
 16 79 04 また ナシ保麦阿
 16 79 04 二「タ」れにかはたれにか平 誰にしかは
 麦
 16 79 04 かたらはむ つれへきこえかたらはん陽 かた
 らむ保麦阿
 16 79 04 おほしわひて おもほしわひて保
 16 79 04 兵部卿の宮 この宮保 兵部卿宮麦阿
 16 79 05 ゆふくれなれば ゆふつかたなれば陽 ゆふく
 れなりければ 未見平夕暮は麦阿
 16 79 05 宮 宮も保平麦阿
 16 79 05 うちなかめたまひて なかめて平 なかめ給て
 麦阿
 16 79 05 はしちかくそはしちかにそ保はしちかふそ
 麦阿
 16 79 06 さつの御ことしやつの御こと陽
 16 79 06 かきならしつゝ かきならしつゝてノ上カラ
 つゝヲ書ク保 かきならし給つゝ平 かきな
 らして麦阿
 16 79 06 御心よせなるはた御心よせの麦阿
 16 79 06 むめのかを むめをのかを保
 16 79 06 おはするを はするに陽平麦阿をはずし
 ノ上カラすヲ書ク保
 16 79 07 しつえをしつえ平

16 79 07 ヲ「しおりて折て麦阿
 16 79 07 にほひのにほひ陽保平
 16 79 07 いとえんにめてたきをナシ保
 16 79 07 おりおかしうおかしと陽平麦阿
 16 79 08 おほしてえんにおほされて保おもほして麦
 阿
 16 79 09 はなゝれや はなゝれは陽
 16 79 09 とのたまへは御かへし保
 16 79 11 みる人に見る人の麦阿
 16 79 11 かこと心平
 16 79 11 わつらはしくとなど保
 16 79 12 たはふれたはれ麦
 16 79 12 たまへるたまひて保
 16 79 12 いとよき御あはひなりナシ保 いとよき御な
 からひ也 未見「平
 16 79 12 御物かたりとも 御ものかたりに陽保麦阿
 「御おもむ保」
 16 79 13 なりてはなりて保麦阿
 16 79 13 山さとの御ことをまつはいかにと宮はきこ
 え給中納言も ナシ保
 16 79 13 御ことをぞ 御事を平
 16 79 13 まつはまつ陽平麦阿
 16 79 14 けふまでけふいまに保
 16 79 14 おもひのたえぬよし 思にたえかたきよしを
 陽思ふ事ゝんの保 思ひたえかたきよし未
 見「平 おもふにたへかたきよし麦阿
 16 79 14 おりゝおり陽
 16 80 01 あはれにもあはれに陽
 16 80 01 おかしくもおかしきも保

16 80 01 とかナシ保とかや麦阿
 16 80 01 いふらむやうにいふやうに陽ナシ保
 16 80 02 いてナシ保
 16 80 02 ましてさはかりナシ保 まいてさはかり麦
 阿
 16 80 02 いろめかしくいろ(こ)めかしく保
 16 80 02 御くせはおほむくせは保
 16 80 02 御うへにてうゑ保 うへに平
 16 80 03 そてもしほるはかりになりてそてぬれて
 保
 16 80 03 かゝゝしくそかへゝしくこそ陽かひゝ
 しくそ保
 16 80 03 あひしらひ あへしらひ保平麦阿
 16 80 03 きこえ給める給めれ陽ナシ保 給める
 平
 16 80 03 そらのけしきも又けにそ けにそらのけし
 きもいとけに八けふ力給ふ力「保
 16 80 04 けしきもけしき平
 16 80 04 又はた陽平 ナシ麦阿
 16 80 04 けにそけふそ陽
 16 80 04 あはれしりかほにかすみわたれるよるになり
 てナシ保
 16 80 04 かすみわたれるかすみわたる麦 霞わたれる
 阿
 16 80 04 よるになりてはけしつよるになりてはけし
 く陽 夜に入てはけに麦阿
 16 80 05 かせのけしきまたふゆめきていとさむけにか
 せに保
 16 80 05 いとナシ平

16 80 05 さむけにさむきに平麦阿
 16 80 05 おほとなふらも 御とのあふらも陽 御とのあ
 くら保
 16 80 05 やみはあやなき やみはあやなき保
 16 80 06 たとゝしななれとたとゝし保 ことゝ
 しななれと麦阿
 16 80 06 きゝさしたまふへくもきゝさしつへくも麦
 阿
 16 80 07 御物かたりを おほむものかたり保
 16 80 07 えはるけやりたまはてはるけたまで保 はる
 けやり給はす平 はるけやり給はて麦阿
 16 80 07 夜も 夜保
 16 80 08 中 御中保平麦阿
 16 80 08 さりともしさとん保
 16 80 08 いとさのみはあらざりけむとナシ保
 16 80 08 いとナシ陽平麦阿
 16 80 08 さのみはさのみ平
 16 80 08 のこりありけにのこりおほけに陽麦阿のこ
 りあらむと保
 16 80 09 とひなし「ト」ひきこえ保
 16 80 09 たまふぞ 給麦阿
 16 80 09 わりなき御心ならひなめるかしさりながら
 物に心 あちきなかりけるものゝこゝろを
 保
 16 80 09 なめるかしなめりかし麦阿
 16 80 10 なけかしき心のうちも 心のうち保
 16 80 10 あきらむはかりナシ陽 あきらむはかりに平
 麦阿「あきらむ あきらむ」
 16 80 10 またナシ平

16 80 10 さまし まし陽 とりまし保 さしまし平
 16 80 11 さまノ にかたらひたまふ御さまのおかしき
 にかたらひきこえ給に保
 16 80 11 御さま さま平
 16 80 11 たてまつりて 奉り麦阿
 16 80 11 けに ナシ保麦阿
 16 80 12 までおもひむすほるゝことゝもすこしつゝ
 かたりきこえ給そこよなく ことをもすこし
 保
 16 80 12 ことゝも 心のうち陽 事ともゝ麦阿
 16 80 12 すこしつゝ 16 82 04 心ひとつにおもひ 落
 丁平
 16 80 12 給そ 給陽 給に麦阿
 16 80 13 むねのひまあく心ちしたまふ宮もかの人ちか
 くわたしきこえてむとするほどのことゝも む
 ねのひまあげ給かの人わたしてんとする事宮
 も保
 16 80 14 ことゝも 事も麦阿
 16 80 14 かたらひ かたり麦阿
 16 80 14 給を 給に陽 給保
 16 80 14 侍かな はへるを陽
 16 80 14 あいなく あいなつ保 あやなつ麦阿
 16 81 01 あやまちと あやまちとのみ陽阿 あやまちに
 保 あやまちのみ麦
 16 81 01 なむ ナシ陽
 16 81 01 おもふたまへらるゝ 思給へらるゝ陽麦阿 お
 もふたまへられつる保
 16 81 01 あかぬ おほかたもあかぬ陽麦阿
 16 81 01 なこりを なこりも陽 なこり保

16 81 02 おほかたには ナシ陽麦阿
 16 81 02 なに ことにつけても ナシ保
 16 81 02 きこゆへき人となむきこゆへくもなん保
 16 81 02 おもふたまふるを 思給ふるを陽 思ふたまふ
 る お保 思給るを麦阿
 16 81 03 もし ナシ麦
 16 81 03 ひなくやおほしめさるへきとてかのこと人と
 なおもひわきそとゆつり給し心をきてをも あ
 いなくや人のこゝろさまノ にはへるめりへ
 かめればひとつかたさまにもえおもひえ侍ら
 すなんとたまひてかのゆつり給つゝ心をき
 ても保
 16 81 03 ひなくや ひんなくや陽麦阿
 16 81 03 なおもひわきそな思わけそ麦阿
 16 81 04 すこしは すこしはかりは保
 16 81 04 かたり ナシ保麦阿
 16 81 04 きこえ給へと きこえ給へとかの陽 きこゆれ
 と保
 16 81 04 いはせの もりの いはせ) ラタ)の もりの
 保
 16 81 04 よふことりめいたりし よふことりめきたり
 し陽麦阿
 16 81 05 たりけり たまえり保
 16 81 05 心のうちには 心中には麦阿
 16 81 05 かく ナシ保麦阿
 16 81 05 なくさめかたき なくさめ麦阿
 16 81 05 かたみにも なくさめにも陽
 16 81 06 けに ナシ保

16 81 06 さてこそ ナシ陽 かくこそ保 さこそさて麦
 阿
 16 81 06 かやうにも ナシ保
 16 81 06 きこゆへかりけれときこゆへかりけりと
 陽 聞えへかりけれと麦
 16 81 06 こと 事も麦阿
 16 81 06 やうノ ナシ保
 16 81 07 物ゆへものゝ陽 事ゆえ保 物から麦阿
 16 81 07 つねにかうのみおもはゝ つねにかくのみ思
 はるゝは陽 ナシ保
 16 81 08 あちきなくおこかましからむとあちきなく
 おこかましくこそなと保
 16 81 08 思はなる 思まはさる麦阿
 16 81 08 しても さて陽保 さてしも麦阿
 16 81 09 おはしまさんにつけても ものし給はんにつ
 けても陽麦阿 ものしたまはん保
 16 81 09 まことにおもひうしろみきこえんかたはまた
 くれかとはおほせは御わたりのことゝもゝ心
 まうけさせ給 おほかたの御うしろみなど
 はまたたれかとはおほひきこえむとおもひや
 りきこえたまひておほむわたりのほどのこゝ
 るまうけなともしのひてさせ給 きこえむ
 ノむ八たノ上カラ書クカ「保
 16 81 09 おもひ ナシ麦阿
 16 81 10 おほせは おもほせは阿
 16 81 10 御わたりのことゝもゝ 御わたりの程の事と
 も麦阿
 16 81 10 よき ナシ麦阿
 16 81 10 わらは わらはへ陽保麦阿

16 81 11 もとめてもとめてゝ陽
 16 81 11 いそぎナシ陽
 16 81 11 おもひたれとをもえれと保
 16 81 11 ふしみをふしみをさへ陽 ぶしみのさとを
 をとを八みを力保
 16 81 12 あらしはてむもあらしはてたまはんも
 保
 16 81 12 いみしくいみしう陽保麦阿
 16 81 12 心ほそければこゝろほそつ保
 16 81 12 なげかれ給かなしき保 かけせ給麦
 阿
 16 81 12 つぎせぬをつきもせず保
 16 81 12 さりとてもさりとて保麦阿
 16 81 13 又せめてナシ保
 16 81 13 たけかるましくたけかるましう保
 16 81 13 中のちきりもたえはてぬへきおほむちきり
 もたえぬへき保
 16 81 14 御すまゐ御すみか保 御栖麦
 16 81 14 いかにおほしえたるそとのみつねに保 いか
 におもほしへたつるそとのみ麦阿
 16 81 14 給も 給へは保
 16 81 14 すこしはことほりなればナシ保
 16 82 01 いかゝいかに保
 16 82 01 すへからむとすへきからむと保
 16 82 01 おもひみたれたまへりおもひみたれて
 保
 16 82 01 きざざきのついたちこゝろ二月の一日比と
 麦阿
 16 82 02 ちかくちかつ保

16 82 02 なるまゝになりぬるに陽
 16 82 02 はなの木とものはなの木の保
 16 82 02 のこりゆかしくのこりゆかしう陽 ナシ
 保
 16 82 03 かすみのかすみも保
 16 82 03 みすてむこともみすてゝ保
 16 82 03 とこよにてとこよに陽保麦阿
 16 82 03 たひねにていかにたひねにまたいと保
 16 82 04 人わらはれ人わらへ保麦阿
 16 82 04 こそなとこそと陽 こそまされなと保 こそ
 なと麦
 16 82 04 つましくつましう保麦阿
 16 82 05 おもひ 思みたれつ保
 16 82 05 ぬきすてたまふにぬきすて給陽 ぬき給
 保
 16 82 06 みそきもみそきかは陽麦阿 みそきの(も)
 保
 16 82 06 心ちそするこゝちするを陽麦 心ちそする
 保 心ちする阿
 16 82 06 おやひとゝころはあかすかなしうをやひと
 ころをば保 おや一所の御事は麦阿
 16 82 06 みたてまつらざりしかは見たてまつらざり
 しかはをノ上カラかはう書ク陽
 16 82 07 ことはおもほえずことはおほえず陽 事もお
 もほえ給はず保
 16 82 07 御かはりにも御かはりに陽 おほむかはりに
 も保
 16 82 07 ふかくふかう保
 16 82 07 心にはナシ保

16 82 08 おほしのためへとおほしのためふけれと
 保 ふかく思の給へと麦阿
 16 82 08 さすかにナシ保
 16 82 08 ゆへもなきナシ平
 16 82 08 なきわさなればなきわさなりければ陽
 麦阿 さすかになかりけるわさなりければ
 保
 16 82 08 あかすかなしきことかきりなしナシ保
 16 82 08 ことこも平
 16 82 09 御くるま おほむくるま保
 16 82 09 御前の御ともの陽平 ナシ保
 16 82 09 はかせ 御 はかせ保はかし麦 御はかし
 阿
 16 82 09 たてまつれたまへり たてまつりたまえり保
 麦阿 奉給へり麦
 16 82 11 花のひもとく花のひほとく麦
 16 82 11 おりもきにけりときもきにけり 平 未見 平
 麦阿
 16 82 12 きよらにてけふらにて陽 きよけにて
 保
 16 82 12 たてまつれたてまつり陽保麦阿
 16 82 12 ほとのほと陽
 16 82 12 ともなと 陽平 麦阿 など保
 16 82 13 ことノからぬ物からしなノにこまやか
 におほしやりつゝみなしなノにをしはか
 りつゝこまかに保
 16 82 13 しなノにしなノにつけて陽 しなノ平
 麦阿
 16 82 13 おほしやりつゝおほしよりつゝ陽 おもほし

やりつゝ麦阿
 16 82 14 おりにをり／＼に陽麦阿
 16 82 14 つけてはつけつゝ陽保
 16 82 14 わすれぬさまなる御心よせのわすれぬ御心
 はへの保
 16 82 14 さま御さま平
 16 82 14 ありかたくありかたう保
 16 82 14 えいといと陽ナシ保え麦阿
 16 83 01 かつまてはかくは陽
 16 83 01 おはせぬおもほさぬ麦阿
 16 83 01 わさそなとわさかなとそ陽わさをなと
 保
 16 83 01 人／＼は人々陽
 16 83 01 きこえしらすきこえしらする陽
 16 83 01 あさやかならぬあやかなる麦あさやかなる
 阿
 16 83 01 ふる人ともものふるひとの保人とももの麦
 阿
 16 83 02 心にしめて心にしめて陽めて保
 16 83 02 人は人々は陽保平
 16 83 02 時／＼も時／＼麦阿
 16 83 03 いまはと今は陽
 16 83 03 ことさまにこと様に麦
 16 83 03 たまはむを給なんを陽給はんは保
 16 83 03 おほえさせたまはんおほえ給はん陽保
 16 83 04 きこえあへりきこゆ保
 16 83 04 身つからはみつから麦阿
 16 83 04 あすとのあすとして麦阿
 16 83 04 またいまた陽又麦

16 83 06 物なれてめなれて保
 16 83 06 かうやうにもかやうにと陽かうは保かや
 うに平かやうにも麦阿
 16 83 06 おもひそめしかなとおもふへかりしかなと
 保思そめしかなと麦
 16 83 06 のたまひしのたまへりし平
 16 83 07 心はへを心はへ陽心はえをも麦阿
 16 83 07 思いてつゝおもひいてゝ陽平おもほし出つ
 ゝ麦阿
 16 83 07 かけはなれかけなれ陽もてはなれ麦
 阿
 16 83 07 ことのほかになとはことのほかになと陽
 八虫損テなどはノ可能性ヲ否定デキズ陽麦
 阿こよなうは保
 16 83 08 あやしうもあやしくも陽あやしう平麦
 阿
 16 83 08 へたゝりにしへたゝりし麦阿
 16 83 08 かなとかなと保
 16 83 08 おもひつゝけられ給思つゝけ給保
 16 83 09 かいほみかいまみ保麦阿
 16 83 09 あなあなた平
 16 83 09 思いてらるれば思いてられ給へは保思出ら
 れて麦阿
 16 83 10 中をはなかをは陽中は保
 16 83 10 おもひいてきこえつゝいとゝ思いてきこえ
 て保
 16 83 11 中の宮は宮は陽
 16 83 11 ましてまひて麦阿
 16 83 11 御なみたなみた陽麦阿

16 83 11 わたりもおほえ給はすほれ／＼しけにて御
 わたりのこともおほえ給はておれ／＼しくて
 保
 16 83 12 なかめふしたまへるになかめ給へるに麦
 阿なかめ給へるをに麦
 16 83 12 つもりもつもりに麦阿
 16 83 12 そこはかとなけれとそこはかとなう保
 16 83 13 いふせくいふせう保
 16 83 13 思たまへらるゝをおもふたまへらるゝを
 保思給へらるゝ麦阿
 16 83 13 あきらめきこえさせてなくさめ侍らはやあ
 きらめはへてなん保
 16 83 14 なさしはなたせたまひそさしはなたれ給こ
 そ麦さしはなれ給こそ阿
 16 84 01 侍り侍れ麦阿
 16 84 01 給へれば給へは保平
 16 84 01 へハしたなしとはしたなく保はしたなく
 と麦阿
 16 84 01 おもはれたてまつらむおほえたまはん
 保
 16 84 01 しもナシ陽も麦阿
 16 84 01 おもはねとおもはぬを保
 16 84 02 いさや心ちもれいのやつにもおほえすかきみ
 たりつゝいさや心地もかきみたりつゝれい
 のやつにもおほえす陽ナシ保麦阿
 16 84 02 いとゝいと陽平いとゝしき保
 16 84 02 はか／＼しからぬこころのほれ／＼しさに
 保はか／＼しからず麦阿
 16 84 03 ひかこともやとひかことゝもやと麦阿

16 84-03 つまじうてなとつまじきこそと陽もの
とみつとまじうてなと保つとまじうてな
んと平つとまじきにこそと麦阿

16 84-03 くるしけになをきこえんことをくるしけに
陽麦阿

16 84-03 おほいたれと思給へれと陽麦阿 おほいたれ
は保

16 84-03 いとおしなといとつたてひかノしつおは
しますと陽いとほしと保いとつたてわかノ
しつおはしますと麦阿

16 84-04 きこえてそのかして陽麦阿

16 84-04 中のなかの保

16 84-04 さつしのくちにてしやつしのもとに陽さつ
しくちにて保さつしもとに麦阿

16 84-04 たいめんしたまへりいたしたてまつりたり
陽麦阿

16 84-05 またこのたひはありしよりも保

16 84-05 ねひまさりたまひにけりといますこしね
ひまさり給へりと陽ねひまさりたまえるに
保

16 84-05 めもおとろくまでにほひおほく人にもにぬよ
うぬなどあなめてたの人やとのみえたまへ
るをひめ宮はおもかけさらぬ人の御ことをさ
へおもひいてきこえ給にいとあはれとみたて
まつり給宮もおはれとおもふころのな
しにやいよノにほひおほくめてたの人やとめ
もおとろかるゝまで人にことなり保

16 84-06 おほくおほくて麦阿

16 84-06 のみナシ陽

16 84-06 ヲミえたまへるをミ給入るを平

16 84-07 おもかけさらぬましてをもかけさらぬ
陽

16 84-07 おもひいてきこえ給に思聞え給に麦阿
16 84-08 御ものかたり御事陽おほむ物かたり
保

16 84-08 なともも保麦阿

16 84-08 こといみすへくやなとこといみすへ
くやと麦阿

16 84-08 いひさしつゝいひさして保

16 84-09 ちかくちかうは保ちかう麦阿

16 84-09 このころこの陽

16 84-09 すくしてすくしてなん保

16 84-09 侍へければはへへければ保給へければ麦
阿

16 84-09 あか月とあか月とや陽あか月と麦
阿

16 84-10 侍めるは入る陽麦阿

16 84-10 なにこのことになにこの陽

16 84-10 おほしのためはせはおもほしかよは保お
もほしの給はせは麦阿 おもほしの給へはせ
は麦

16 84-11 侍らむはへらむりノ上カララ書ク保
は麦

16 84-11 きこえさせきこえ保

16 84-11 つけ給はりてつけ給て麦阿

16 84-11 すくさまほしくすくさまほしつ保

16 84-11 なんなんなと保なと麦阿

16 84-11 侍るをいかはおほしめすらむ人の心さまノ
に侍る世なれはあいなくやなとひとかたに

もえこそおもひ侍らねとナシ保

16 84-11 いかはいか陽麦阿

16 84-13 きこえ給へはきこえ給保

16 84-13 やとをはやとをは陽

16 84-13 思心ふかく思ころふかう陽思ひ侍るなど
ころふかくつ保

16 84-14 ちかくちかう保麦阿

16 84-14 のたまはするにつけてものたまはつにつ
けても保の給はずにつけても阿

16 84-14 よろつにみたれ侍りてきこえさせやるへきか
たもなくなと所ノいひけちていみしく物あ
はれとおもひたまへるはひなといとようお
ほえたまへるをきこえやるかたなくみたれ
はへてなといひけちつものあはれる御け
はひおほえたりけり保

16 84-14 へきナシ麦阿

16 85-01 なくなくなん陽

16 85-01 いみしくいみしつ陽麦阿

16 85-01 物あはれと物なれ哀と麦阿

16 85-01 おもひたまへる思給つる陽思給へるに麦
阿

16 85-01 けはひなといとようおほえたまへるをナシ
麦阿

16 85-02 たまへるを給へるに陽

16 85-02 みなしつるとみなしつると思に陽平みな
したてまつるを保見なしつるよと思に麦阿

16 85-02 いとくやしうとくやしう陽いとくやし
う保くやしつ麦阿

16 85-02 いとくやしうとくやしう陽いとくやし

う保くやしつ麦阿

16 85-02 おもひみたまへれとおもひみ給つれとコノ
 前後つトヘガホ本同形陽 思ふたまへと保 思
 給へれと麦 思給へれは阿
 16 85-03 かひなければナシ阿
 16 85-03 そのよのこかけてもいはすわすれにけるに
 やとみゆるまでそのことはわすれたるやつ
 にて保
 16 85-03 わすれにけるにやと忘れにけるやと麦
 阿
 16 85-04 御まへおまへ麦阿
 16 85-04 かもナシ陽
 16 85-04 なつかしきになつかしけにて陽麦阿 いとな
 つかしきに保
 16 85-05 みすくしかたけにすきかたく保
 16 85-05 ましてナシ麦阿
 16 85-06 心を心陽保 御心麦阿
 16 85-06 まとはしたまふ まとはいたまふ保
 16 85-06 とちのつちの保
 16 85-06 御ものかたりに 御ものかたり陽 御物かたり
 は保麦阿
 16 85-06 あはれなりかし あはれなり陽麦阿
 16 85-07 さとふきいるゝにふきいるゝ保
 16 85-07 たち花ならねとナシ保
 16 85-08 おもひいてらるゝ 思いてられるゝ保
 16 85-09 などと麦阿
 16 85-09 たまへは給て保
 16 85-10 みる人も みる人も保
 16 85-10 あらしにまよふ あらしにまよふ陽
 16 85-10 いふとてなく いふともなく陽平の給ともな

く保 いふともなくて麦阿
 16 85-11 ほのかにてたえゝ所ゝ保 たえゝほの
 かに麦阿
 16 85-11 なつかしけにいとなつかしう保
 16 85-11 うちすんしなしてすしなして保 うちすして
 麦阿
 16 85-12 ねこめうつさふねさめうつさふ陽平
 16 85-12 やとやことなるやとそことなる陽 やとやこ
 となる保
 16 85-13 さまよくさまよふ(つ)保
 16 85-13 かくしてかくいて保
 16 85-13 おほくもあらず おほくもあらず陽 おほから
 ぬほにて保 おほえもあらず麦
 16 85-13 またも猶かやうにてなむなにももきこえさ
 せよかるへきなきこえをきてナシ保
 16 85-13 またも又麦阿
 16 85-14 きこえさせよかるへき 聞えさせよるへき麦
 阿
 16 85-14 御わたりにあるへき おほむわたりにあるへ
 き陽 御わたりの保
 16 86-01 人ゝにナシ麦阿
 16 86-01 のたまひをくのたまひをきみてニミセケチ
 力保
 16 86-01 このこゝの麦阿
 16 86-01 やともりにやとりに陽 やともりに候へき
 保
 16 86-01 ひけかちのとのぬ人 ひけかち(かち)のとの
 ぬ人保 ひけかちなりし殿ぬ人を麦阿
 16 86-01 などはさぶらふへければナシ保 などの給け

れは麦阿
 16 86-02 わたりのわたり陽麦阿
 16 86-02 ちかきナシ保
 16 86-02 御さうともなとにみしやうともに陽 御さう
 などに保 御さうともにて麦阿
 16 86-02 そのことゝもゝのたまひあつけなとまめやか
 なることゝもをさへさためをき給の給あつ
 けまめやかにおきてたまふ保
 16 86-02 ことゝもゝことゝも陽麦阿 ことも平
 16 86-02 のたまひナシ麦阿
 16 86-03 まめやかなるまめやかなる麦
 16 86-03 かやうの御ともにもおもひかけすななきナ
 シ保
 16 86-03 御ともにも御ことにも陽 御ともには麦
 阿
 16 86-04 ななきいとなきき陽
 16 86-04 いのちいのちの陽保麦阿
 16 86-04 いとナシ陽麦阿
 16 86-04 おほえ侍るを 思侍るを麦阿
 16 86-04 ゆゝしくゆゝしう麦阿
 16 86-04 みおもふ 見おもひぬ陽 見給ぬ麦阿
 16 86-05 しられ侍らしてしられして陽
 16 86-05 かたちも かたちをも麦阿
 16 86-05 かへてけるを かへるけるを陽 かへてけり保
 16 86-06 いとあはれとナシ陽 いと哀に阿
 16 86-06 みたまふれのむかし物かたり おほえたりす
 きにけるむかしの物かたぬ おほえ力保
 16 86-06 などと陽

16 86 06 せさせ給て せさせさせ給て保
 16 86 07 猶ナシ陽
 16 86 07 ときノハ 時々陽保平麦阿
 16 86 07 まいりくへきを まいり侍へきを陽 まいりくへきとおもふを麦阿
 16 86 07 いといと保
 16 86 07 たつきなく たつきなう保
 16 86 07 心ほそかるへきに 心ほそかりぬへきを陽 心ほそかりぬを保 心ほそかりぬへきに麦阿
 阿
 16 86 08 あはれに ナシ陽麦阿
 16 86 08 うれしかるへき うれしかりぬへき陽
 16 86 08 なむなと なむと保なと麦阿
 16 86 08 えもいひやらすなき給いとふに えもいひやりたまはすなき給いとそうきに陽
 16 86 09 なき給 ないたまふ保
 16 86 09 のひ侍る なり侍にける保
 16 86 09 つらくいとつらくはへるに保
 16 86 10 なへての世を なへてよを陽 なへてのよも保
 16 86 10 おもひたまへしつむに 思給しつむに陽 思給へしつむにも保 思給へしつむにつけて麦阿
 〔思給へ 思給へよを麦〕
 16 86 10 つみもいかに いかにつみ保
 16 86 10 ふかく侍らむと ふかく侍覽なと陽 ふかからむと保
 16 86 11 ことゝもを ことゝも陽
 16 86 11 うれへかけうれへ保
 16 86 11 きこゆるも 聞ゆるを麦阿

16 86 11 かたくなしけれと かたくなしけれと陽 麦阿 いかたくなしけれと保
 16 86 11 よくよう保
 16 86 12 いたくナシ保
 16 86 12 きよけなりける ときよけなりし保 きよけなる麦阿
 16 86 12 なこりを なこりに保
 16 86 12 そきすてたれば そきすてたる保 麦阿
 16 86 13 かはれるに かはりたるに保
 16 86 13 わかく わかう保
 16 86 13 さるかたに みやひかなり みやひかにきよけなり保
 16 86 14 おもひわひては 思わひて麦阿
 16 86 14 なととなとて保 ナシ麦阿
 16 86 14 さまにも さまにも陽
 16 86 14 なしたてまつらざりけむ ないたてまつらすなりにけん保 となし奉らざりけん麦阿
 阿
 16 86 14 のふるやうもやあらまし のふるやうもあり なまし陽 のふるやうもやあらまし麦
 16 87 01 さいもいかに心ぶかくかたらひきこえてあらまし さるかたにてかたらひきこえていかに中ノ心ぶかうおほえてすくさまし保
 16 87 01 心ぶかく 心ぶかう麦阿
 16 87 01 なんと麦阿
 16 87 02 おほえ給に おほさるゝに保
 16 87 02 木丁を き丁陽
 16 87 03 こまかにそ こまやかにそ陽 平麦阿 いとものこまやかに保

16 87 03 けに ナシ麦阿
 16 87 03 むけに いたう保
 16 87 03 おもひほけたるさまながら おいほれにたる さまながら保 したれさまながら麦阿
 16 87 03 うちいひたる いひたる保 麦阿
 16 87 04 けしきようめ ようつけしき陽 さまよういなと保
 16 87 04 人のなこりと 人のなこりとは陽 人かなと保
 16 87 05 いのちならましと いのちならまし陽 平
 16 87 05 うちそみ うちそみて保
 16 87 06 いと ナシ麦阿
 16 87 06 ふかゝなる ふかゝむなる陽 ふかゝなる麦阿
 阿
 16 87 06 ことに 阿
 16 87 06 かのきしに かの敷たへの枕のを思つゝけ給ていけにかのきしに麦阿 枕のを 枕を阿 給ていけに 給てはけに阿
 16 87 06 ことなか ことはあれと保
 16 87 07 あるましきことにてさへ あるまじうて保 あるましき事にさへ麦阿
 16 87 07 ふかきそこに なかきよに保 ふかきことに麦阿
 阿
 16 87 07 すくさむも すこさんも麦阿
 16 87 07 あいなし あやなし麦阿
 16 87 08 なへてむなく むつましく麦阿
 16 87 08 世になむ よなりけり保 世に麦阿
 16 87 08 の給のたまひて保
 16 87 09 なみたのかはに なみたのふちに保

16 87 09 こひしきせ々に恋しきせ々は陽保麦阿
 16 87 09 わすれしもせしわすれなかれやはせん陽わ
 　　ゝすれしもせし麦
 16 87 09 いかならむいつれの保
 16 87 10 すこしもナシ陽すこし保
 16 87 10 おもひなくさむるなくさむ保 思なくさむ麦
 　　阿
 16 87 10 ことありなむとことありなんと陽 事もあら
 　　むと保麦阿
 16 87 10 はてもなき はてなき保
 16 87 11 なかめられてなかめほれて保
 16 87 11 くれにけれとくれにけれは陽ノは八虫損二
 　　テ推読陽保
 16 87 11 とかむる みとかむる陽 みとかめん麦
 　　阿
 16 87 12 ことやとこともやと陽麦阿 こともこそと
 　　保
 16 87 12 あひなければおほして保
 16 87 12 おもほしのたまへるおほしのたまへる
 　　陽 おほしのたまえる保
 16 87 12 さまを 事ともを保
 16 87 13 いとゝいと保
 16 87 13 なくさめかたくなくさめかたう保
 16 87 13 なくさめかたくなくさめかたう保
 　　ゝく「れまとひたりみな人はくれまとひて
 　　ゐたりみな人ノゝは保
 16 87 13 けしきにてけはひ(シキ)にて保
 16 87 13 いとなみつゝいとなみ麦阿
 16 87 14 おひゆかめるをひゝかめる保
 16 87 14 かたちもかたちをも陽麦阿 さまをも

16 87 14 つくるひかほつくるひ保
 16 87 14 いよノノ弁はいよノノ陽
 16 88 01 人はみないそきたつめるそてのうらにひとり
 　　もしほをたるゝあま哉とつれへきこゆればナ
 　　シ麦
 16 88 04 ことナシ阿
 16 88 04 わさと事になん保
 16 88 04 おほゆればおほゆるを保 おもほすは麦
 　　阿
 16 88 04 さま有様麦阿 有さま阿
 16 88 04 こゝをはあれはてしとなむおもふをさらはこ
 　　ゝをあれはつへきにもあらねは保
 16 88 05 あれはてしかあれはてし麦 かれはてし
 　　阿
 16 88 05 たいめんもたいめんは陽保 たいめは保 たい
 　　いめも麦阿
 16 88 05 しはしのほとも心ほそくてこゝろほそふう
 　　ノ上カラクヲ書ク保
 16 88 06 みをくにみれば保
 16 88 06 かたちなる人もかたちしたる人も陽 かたち
 　　にても保
 16 88 07 ひたふるにいと保
 16 88 07 わさなめるを わさなるを麦阿
 16 88 07 猶 ナシ麦阿
 16 88 07 おもひなして 思なくさめて保
 16 88 08 みえ給へみ給へ平
 16 88 08 いとナシ保
 16 88 08 なつかしくなつかしう陽保

16 88 08 もてつかひとりつかひ陽
 16 88 09 たまひしたまふし保
 16 88 09 御てうとおほむてうと保
 16 88 09 みなナシ保
 16 88 09 とゝめをき給てとゝめおいたまひて保
 16 88 09 かくナシ麦
 16 88 09 人より人よりは陽
 16 88 10 ふかくことに保 心ふかく麦阿
 16 88 10 おもひしつみ 思いり陽麦阿
 16 88 10 さきの世も さきのよに麦阿
 16 88 10 ちぎりもや ちぎりにや陽 おほむちぎりや
 　　保 契や麦阿
 16 88 10 物したまひけむ ナシ陽
 16 88 11 さへゆへ保
 16 88 11 あはれにナシ陽 あはれに保
 16 88 11 なむとなんと陽 など保麦阿
 16 88 11 のたまふにの給麦阿
 16 88 11 わらはへのわらはへの保
 16 88 12 おさめん おさむる保
 16 88 12 かたなくかたなう保
 16 88 12 おほゝれゐたり おもほれゐたり麦阿
 16 88 12 よろつとりしたゝめてものとりしたゝめな
 　　として保
 16 88 13 御くるまともよせて 御くるまともよせ保 御
 　　車とりよせて麦阿
 16 88 13 御せんの人ノ御せんの陽 宮の人保 御前
 　　の人ノゝ麦阿
 16 88 13 四ゐ五ゐ 四位五位なと麦阿
 16 88 13 いとかす保

16 88 14 いみしうおはしまさまほしけれといとおは
 しまさまほしかりけれとこと／＼ものお
 ほく保
 16 88 14 いみしういみしく陽
 16 88 14 こと／＼しくこと／＼しう麦阿
 16 88 14 あしかるへければあしかりぬへければ陽は
 したなかるへければ保
 16 89 01 たゞしのひたるさまにもてなしてナシ
 保
 16 89 01 おほさるおほしなからなん保 おもほさる麦
 阿
 16 89 01 よりもより麦阿
 16 89 02 御せんの入 御せんの入々陽麦阿御せん 御前
 麦阿 御くるま入／＼も保 御せん平
 16 89 02 かすおほくあまた保いとかすおほく
 平
 16 89 02 たてまつれたてまつらせ陽 へタてまつり
 保麦阿
 16 89 02 宮よりは宮は保
 16 89 03 おほしをきつめれおほしをきつれ陽 おほし
 やるへかめれ保 おほしをきてけれ麦阿
 16 89 03 こまやかなるこまかなる保 ナシ麦阿
 16 89 03 御あつかひは御つかひは麦
 16 89 03 殿 中納言殿保
 16 89 03 おもひよらぬ おほしよらぬ保
 16 89 04 ことなくことなう保
 16 89 04 給 給へり陽
 16 89 04 日くれぬへし日くれはへりぬ保
 16 89 04 うちにもとにもナシ保 うちにもとにもとに麦う

16 89 04 きこゆるに心あはたしくいつちならむとき
 こゆるにもいつちならむと心あはたしくしう
 保
 16 89 05 おもふにもおもふも陽麦阿 かつは保
 16 89 05 はかなくはかなう保
 16 89 05 かなしとのみかなしと陽かなしきに
 保
 16 89 05 おもほえたまふに おほえ給に陽 ナシ
 保
 16 89 06 たいふの君 大二の君保
 16 89 06 人のいふ人のきこゆ保 人麦阿
 16 89 07 なくてましかはなけてましかはと陽保麦
 阿
 16 89 08 弁のあまの弁尼の麦阿
 16 89 08 心はへにこころはえには保麦阿
 16 89 08 こよなうもこよなくも陽麦阿
 16 89 08 あるかなとあるからと陽と保
 16 89 08 心つきなうもこころつきなく陽平麦阿 ナシ
 保
 16 89 08 いまひとり ナシ陽麦阿
 16 89 10 こひしきこともかなしき事は麦阿 かなこ
 ひしき事はもイ阿
 16 89 10 けふはたまつも けふまたまつも平 けふはた
 まもに麦
 16 89 10 いつれも ナシ保
 16 89 11 人／＼にて 心にて麦阿
 16 89 11 御かたをは 御かたに保
 16 89 11 心よせまし 心よせ陽麦阿 ころよせぶかう

16 89 11 きこえためりしを きこえたりしを陽平 思き
 こえためりしを保
 16 89 12 かく ナシ保
 16 89 12 こといみするも こといはするも阿
 16 89 12 世 身麦阿
 16 89 12 おほえたまへは み給へは保
 16 89 12 いはれたまはすのたまはす保
 16 89 13 みちのほとのはるけく みちのほと保
 16 89 13 山みちの 山ちの麦阿
 16 89 13 ありさまを けしき陽保
 16 89 13 みたまふ ナシ保
 16 89 13 つらきにのみおもひなされし つらかりし
 保
 16 89 14 かよひ かよひち保麦阿 かよひち保
 16 89 14 たえま 御とたへ保
 16 89 14 なりけりとなりけり 陽
 16 89 14 すこし けふそ保 すこしは阿
 16 90 01 おほししられける おほししりける保
 16 90 01 七日の月の 七日の月保麦阿
 16 90 01 さやかに はなやかに保 さやさやかに
 麦
 16 90 01 さしいてたる さしいて 陽保麦阿
 16 90 01 おかしくを かしう麦阿
 16 90 01 かすみたるを すみたるを陽
 16 90 02 みたまひつ みたまひて保 み給ふにつけて
 も麦阿
 16 90 02 いとほきにいとをきも陽麦阿

16 90-02 ならばす ならばぬに陽 ナシ保 ならばぬ心
ちに麦阿

16 90-02 うちなめられて うちなかれて陽保 うち
なかれて麦阿

16 90-03 やまにこそいれ 山へこそいれ陽

16 90-03 さまかはりて ナシ保

16 90-04 いかならむとのみあやつく いかならんとみ
のありさまつたかはしくおほさるゝも中ノ
保

16 90-04 のみ ナシ平

16 90-04 あやつく あやしく麦阿

16 90-04 としころ としころは陽麦阿 このとしころは
保

16 90-04 なにことをかなに事をかは陽 なに事
保

16 90-05 うちすきてそおはしつきたる うちすきてお
はしつきぬ保

16 90-06 みもしらぬさまに見もしらぬやうに陽 みし
らぬさまなる保 みちもしらぬけにくるしな
から見もしらぬさまに麦阿

16 90-06 めもかゝやくやうなる めもかゝやくさまな
る陽 ナシ保 めもかゝやかなる麦阿

16 90-06 殿つくりの 殿つくり麦阿

16 90-06 中 ナシ陽

16 90-07 みや 宮も保 宮は麦阿

16 90-07 いつしかとまちはおはしければ 御くるまの
もとに ナシ保

16 90-07 まちおはしければ まちはしければ 陽
麦阿

16 90-07 よらせ給て おはして保 よせさせ給て平よ
らせ給麦阿

16 90-08 おろしたてまつり給をろしたてまつらせ給
陽 ナシ麦阿

16 90-08 あるへきかきりして あらまほしう保

16 90-08 女はうねうはう陽 女方保 女殿麦

16 90-08 つほねノ さうそく保

16 90-09 御心とめさせ給けるほどしるくみえていと
あらまほしけなりいかはかりのことにかとみ

えたまへる御ありさまのにはかにかくさま
りたまへはおほるけならすおほさるゝことな
めりと世人も心にくおもひおとろきけり 御
心とめてせさせ給へりいかはかりおほさる
ゝ事にかとみな世人もおとろくまでなんあり
ける保

16 90-09 給ける 給へりける陽

16 90-10 ことにかと事にかはと麦阿

16 90-10 みえたまへる おほゆる陽 見えたる麦阿

16 90-10 御ありさま 御さま平 御有様麦

16 90-10 さたまりたまへは さたまりいたまへは陽と
たまり給入れは麦阿

16 90-11 こと ナシ平

16 90-11 おとろきけりをとろけり陽平

16 90-11 中納言は 中納言保

16 90-12 三條の宮に 三條宮に陽麦阿

16 90-12 この廿五日のほかにこの廿日ほどに陽 この
月の二十日ほどになん保 この廿日よ心の
ほかに未見平 此廿よ心の麦阿 此廿よ日の

阿
16 90-12 わたりたまはんとてこのころはひにおはし

つゝみたまふにこの院ちかき ナシ麦阿

16 90-12 このころはこのほとは陽

16 90-12 おはしつゝみたまふにおはして保

16 90-13 院ちかき 院いとちかき陽 あんもいとちかき
保

16 90-13 けはひもきかむとて ものゝありさまもきか
むとおほして保

16 90-13 よぶくるまで 夜のふくる迄麦阿

16 90-13 おはしけるに おはしけり保

16 90-14 たてまつれ たてまつり陽平麦阿

16 90-14 たまへる 給へりける麦阿

16 90-14 御せんの 御をくりの保 ナシ麦阿

16 90-14 かへりまいりてまいりて保

16 90-14 ありさまなとかたり ナシ保 有さまを麦有

さま阿

16 91-01 いみしいみしく陽麦阿 いと保

16 91-01 御心に心に麦阿

16 91-01 いられて陽保麦阿

16 91-01 もてなしたまふなるをきく 給にもかつかはつれ
しき物からさすかにわか心なからおこがまし
くむねつちつふれて もてない給ときくにつ
けてもおこがましきを保

16 91-01 きく 給にも 給に陽

16 91-02 さすかに さかに陽

16 91-02 ものにもかなやとりかへすものにもかなと
保とり返す物にもかなや麦阿

16 91-03 かへすノ ナシ保

16 91-03 ひとりこたれてひとりこたれ給て麦阿
 16 91-04 にほのみつうみにみをの水うみ陽(みにい)
 をのみつうみに保にほの水うみ麦阿
 16 91-04 まほならねともまをならねとも陽保
 16 91-04 いひくたさまほしきいひいたさまほしき
 陽
 16 91-05 右のおほとのは右の大いとの陽右のおほ
 殿の保右のおほい殿は平右のおとくは麦
 八左ヲ右二直スカ」麦阿
 16 91-05 六のきみを六君を陽麦阿
 16 91-05 この月にこの月陽
 16 91-06 さためたりけるにさためたりけるお保
 16 91-06 おもひのほかの思のほかなる保思のほかに
 麦阿
 16 91-06 人を此人を阿
 16 91-06 このかの保
 16 91-06 とおほしかほにナシ平
 16 91-07 はなれこのあんにのみ保此院にのみはなれ
 麦阿
 16 91-07 おはすればあたまへるを陽
 16 91-07 物しけにものしと保物しき事に麦阿
 16 91-07 おほしたりおほしたなり保おほしたる麦
 阿
 16 91-08 き給もいとおしければ御ふみはき給て
 このあんにのみおはすれはいとものしとお
 ほしたなりときたまひて御ふみなどは
 保
 16 91-08 たてまつりきこえ陽
 16 91-08 世にひきてよき日にて陽世中にひきて

平
 16 91-09 いそぎ給へるをのへたまはんも人わらへなる
 へければおほしいそぎたまひけるひとわら
 へにのへ給はしとて保
 16 91-09 人わらへ人わらはれ陽麦阿
 16 91-09 はつかあまりに廿日陽廿日に麦ナシ
 阿
 16 91-10 ゆかりにゆかりそ麦阿
 16 91-10 なくともなけれと保麦阿
 16 91-10 中納言を中納言保中納言殿より麦中納言
 殿阿
 16 91-10 よそ人にその人に麦よその人に阿
 16 91-10 ゆつらむかゆつ覧は陽おもはんは保
 16 91-11 くちおしきにくちをしきを保
 16 91-11 さもやなしてましさもやしてまし陽ナシ
 保さもやしてましと麦阿
 16 91-11 としころナシ麦阿
 16 91-11 人をも人も保麦阿
 16 91-11 なくなしてむなしうしなして保
 16 91-12 もの心ほそくものころほそけに保心ほそ
 く麦阿
 16 91-12 なかめあたまなるをなかめいたまへるを
 陽保なかめ給へるを麦阿
 16 91-12 おほしよりにおほして陽
 16 91-13 給けれとたまひけり保
 16 91-13 はかなさをはなさを麦
 16 91-13 ちかくちかう保
 16 91-13 いといと麦阿
 16 91-13 身も身を阿

16 91-13 ゆうしうおほゆれはいかにもゆうしけれ
 はいかにも陽ゆうしくおほゆるほと保
 16 91-13 ゆうしうゆうしく麦阿
 16 91-14 ありさまは物づくなむとすさましけなるよ
 しましらひはくるしうなともうけなるを
 保
 16 91-14 ありさまは有さま平有様は麦
 16 91-14 なむとなど陽平麦阿
 16 92-01 き給てきたまつて保
 16 92-01 いかてかいかて陽麦阿
 16 92-01 このかの陽
 16 92-01 きみ君の心麦阿
 16 92-01 おほな／＼おほけなく麦阿
 16 92-01 こといつることをこといつるものするこ
 とを保いひ出る事は麦阿
 16 92-01 物づくはすさましうは保物づく麦阿
 16 92-01 もてなすへきそもてなすへき保もてなし聞
 ゆへきそ麦阿
 16 92-02 うらみうらみきこえ保
 16 92-02 したしき御中らひなからも人さまのいと心は
 つかしけに物し給へはかゝる御なからひな
 からいと心つつくしけなるおほむさまなれば
 保
 16 92-02 心ナシ麦阿
 16 92-03 えしゐてしもしゐても陽えしゐても保し
 ゐてしも平あむしもはて麦阿
 16 92-03 きこえうこかしえきこえうこかし保聞え麦
 阿
 16 92-03 たまはざりけり給はす麦阿

16 92 04 ほところ保
 16 92 04 二条の院の六(二)条院の陽 二条院の麦阿
 16 92 04 やとのやと陽
 16 92 04 思やられたまへは思いてられ給へは陽 思い
 てられたて保
 16 92 05 なとよなと保
 16 92 05 あまりてあまり給て麦阿
 16 92 05 御もとに御かたに保
 16 92 05 こゝかちにこゝからに平 こゝかち麦
 16 92 05 おはしましつきておはしまして保
 16 92 06 よつよく陽
 16 92 06 たまひにたれば給にたるは陽
 16 92 06 みたてまつる 見奉り給 麦ノリ八現状虫損、
 『大成』二ヨル「麦阿
 16 92 07 れいのナシ保
 16 92 07 心のこゝろも保 心麦阿
 16 92 07 そひたるそあやしきやされとしちの御心はへ
 はいとあはれにうしろやすくそ思きこえ給け
 るそひにけり保
 16 92 07 そひたるそ つひたるそ平
 16 92 07 あやしきや あやしき陽麦阿
 16 92 07 うちの御心はへはしたの御心はへ麦阿
 16 92 08 うしろやすくナシ陽 うしろやすくて
 麦
 16 92 08 給ける 給陽 ける阿
 16 92 08 なにくれと御物かたり 御物かたりなと
 保
 16 92 08 きこえかはしたまひてきこえ給て陽保し給

16 92 09 ゆふつかた宮は 宮ゆふかた陽 ゆふつけぬる
 ほとに宮は保 夕つかた平
 16 92 09 内へうちに陽保
 16 92 09 御くるまの 御くるまなと保
 16 92 09 さうそくしてさうそくし保 八すノ上カラそ
 ヲ書ク「保麦阿
 16 92 10 人ノおほくまいりあつまりなとすれば人
 なとおほつまいりくわゝりぬれば保
 16 92 10 あつまりなとあつまり給なと麦
 16 92 10 たちいて給て立給て麦阿
 16 92 10 御かたへ 御かたに陽保麦阿
 16 92 11 けはひさひしさ保
 16 92 11 心にくゝすみなして心はつかしけにすみな
 したまへり保
 16 92 11 おかしけなるをかしき保をのかしゝをかし
 き麦阿
 16 92 12 ほのみゆるしてほのみゆるに保 見ゆるして
 麦阿
 16 92 12 御せうそこ 御せうそふ保 八ノ上カラクヲ
 書クカ「陽保
 16 92 12 きこえ給へれば ったへきこえ給へれば陽 つ
 たへきこえ給保 ったへ聞え給へは麦阿
 16 92 13 むかしのきしかたの保
 16 92 13 人 人なと麦阿
 16 92 13 なるへしナシ保
 16 92 13 いてきてナシ陽
 16 92 13 御返 御かへり保 御返なと麦阿
 16 92 13 へたてもへたて保麦阿

16 92 13 あるまじうはへるましく陽 あるましく保麦
 阿
 16 92 14 おもふたまへらるゝ 思たまへらるゝ陽保麦
 阿
 16 92 14 そのことゝなくてさすかその事となくて
 陽その事となく阿
 16 92 14 きこえさせんもきこえさせん事陽
 16 92 14 中ノナシ保
 16 93 01 なれノしきなれノしく麦
 16 93 01 とかめやととかめやなと保とかやと麦
 阿
 16 93 01 つゝみ侍るほとに つゝみ思ふたまふるほと
 にいとゝ保
 16 93 01 かはりにたる かはりにける保 かはりたる麦
 阿
 16 93 01 のみそナシ陽保のみ麦阿
 16 93 01 し侍るやしはへりや陽し侍る保
 16 93 02 御まへの 御前の麦阿
 16 93 02 へたてゝへたてつゝ保
 16 93 02 みえ侍るにみ侍に陽麦阿 みたまふたに
 保
 16 93 02 侍るかなと侍けるかなと麦阿
 16 93 03 きこえてうちなかめてきこえ給てうちなか
 めつゝ保
 16 93 03 けしきけしきの保
 16 93 03 心くるしけなるを 心くるしければ保くるし
 きなるを麦くるしけなるを阿
 16 93 04 ゆき返 ゆきかよひて陽 ゆきかよひ保 聞
 えかよひて麦阿

16 93 04 通りのこゑをも保とりのこゑ麦

阿

16 93 04 つけつゝすこしつけつゝて保

16 93 05 心ゆきて心ゆきても保麦阿

16 93 05 すくしつへかりけるすこしつへかりける

陽すくいつへかりける保すこすへかりける

麦阿

16 93 05 つけてはひたふるにひた道に保

16 93 06 たまへりしたまひし保麦阿

16 93 06 かなしうかなしく陽

16 93 07 いと中ノ保

16 93 07 人ノも人にも陽

16 93 07 うとノしくことノしう麦阿

16 93 07 なもてなしきこえさせ給そなもてなしたてま

つり給そ陽なもてなしきこえ給そ保麦阿も

てなしきこえさせ給そ平

16 93 08 御心御心さし保

16 93 08 ほとをはほとは陽保

16 93 08 こそこそは平

16 93 08 さまをもさまを陽さまにも保

16 93 08 みえたてまつらせたまふへけれおはします

へけれ保

16 93 09 きこゆれときこゆれは陽

16 93 09 ひとつてならず人つてならて陽麦阿人す

(つ)てならて保

16 93 09 ふとナシ保麦阿

16 93 09 さしいてきこえむこのなをつましきをや

すらひたまふほとにきこえ給はむとはさす

かにつゝましきに保

16 93 10 ことの事麦阿

16 93 10 つゝましきをつねにつゝましきを陽麦

阿

16 93 10 ほとにほと平

16 93 10 宮宮も保

16 93 10 御まかり申しにまかり申しに陽まかり申に

保麦阿

16 93 11 たまへりナシ麦

16 93 11 きよらにきよらに保

16 93 11 けさうしナシ保

16 93 11 たまひてたまふて保

16 93 12 御さま御有様麦

16 93 12 中納言はこのきみは保

16 93 12 こなたにこなた麦阿

16 93 12 みたまひて見給て奉ノ上カラ給ヲ書クカ」

麦

16 93 12 なとかなと麦阿

16 93 12 むけにいと保

16 93 13 御あたり御あまり阿

16 93 13 あまりあやしと思まてあやしきまで保あま

りあやしとおもふまでの麦阿

16 93 14 こともや事や陽事ともや平

16 93 14 おほゆれとさすかにむけにへたておほからむ

はおもへとさしへたてんは保

16 94 01 ちかやかにナシ保ちかやかに麦阿

16 94 01 むかし物かたりもむかしものかたりなとも

保

16 94 01 たまへかしなときこえ給ものからさはありと

もあまり心ゆるひせんもまたいかにそやうた

かはしきしたの心にそたまへうはははうる

はしき人のしたのこゝろそ保

16 94 02 さはありともさはありとん陽さは有とも

麦

16 94 02 心ゆるひせんも心ゆるいせんも陽心ゆるし

せんも麦阿

16 94 03 あるや有へきや麦阿

16 94 03 うちかへしさすかに保

16 94 03 ひとかたならずわつらはしけれとナシ

保

16 94 03 ひとかたならず一方ならぬも麦阿

16 94 04 あはれふかくあはれとふかく陽いまもあは

れおほく保

16 94 04 おもひしられにし人の御心をいましもをろか

なるへきならねは思しられにたるを保

16 94 04 おもひナシ麦阿

16 94 05 へきならねはへきにもあらねは麦阿あらね

はあらねは聞えて麦」

16 94 05 かの人もなにかはかのきみも保

16 94 05 のたまふめるの給保麦阿

16 94 05 いにしへの御かはりとむかしの御かはりと

も保

16 94 06 なすらへきこえてなすらへきこえ石『大成』

なすへトスルガ虫損ニカカリ、ら八判読可

能陽思なすらへて保なすらへ聞えて麦阿

16 94 06 かつかく陽麦阿

16 94 06 おもひしりけりと思けりと陽おもひしりけ

りとはかり麦阿

16 94 06 みえ たてまつる みゆる 保
 16 94 06 ふし もあらはや とは ふし もかなと 陽 ふし も
 やと 保 ふし もあらはや と 平 麦 阿

こえなし やすからす かかたノノにまつし
 保
 16 94 07 とかくちととちかくちと 陽 とちかくちとお
 もほせと 麦 阿

16 94 07 かたノノに かたノノ 麦 阿
 16 94 07 やすからす 心 やすからす 陽
 16 94 08 くるし おほなれ けり くるし くるし おほなれ け
 り 陽 くるし かり けり 保 くるし くるし おほなれ
 けり 麦 阿